



下水道をきっかけに**水**ビジネスにチャレンジしませんか？  
**GKP未来会**が皆さんの可能性を広げます。



木更津工業高等専門学校 出身

**吉久 華野香**さん  
 (現在 ㈱日水コン所属)

GKP未来会のイベントに参加して、下水道の魅力を知るとともに、未来会のメンバーが、誇りを持って仕事をされていることが感じられました。この業界で一緒に働きたい!と思うきっかけとなりました。



豊橋技術科学大学 出身

**青島 春花**さん  
 (現在 メタウォーター㈱所属)

世界的に市場が拡大している下水道という重要な社会基盤を支えるために、官民が連携して新しいビジネスの仕組みを作ることが近年必要となっています。私は専攻分野を活かし、ICTの視点でこのチャレンジングな業界を支援しています。



東京都市大学大学院 出身

**野口 智代**さん  
 (現在 前澤工業㈱所属)

GKP未来会のイベントに参加して、私たちの日々の生活で欠かすことができない上下水道の重要性を感じ、水業界への就職を決めました。学生時代の経験も活かし、技術者として誇りを持って、この水業界へ貢献していきたいと思っています。

どんな企業があるのかな? —



の続きは

こちら



Twitterで  
 下水道の最新情報を  
 発信しています!



-問い合わせ先-

下水道広報プラットフォーム 下水道を未来につなげる会  
 (通称:**GKP未来会**)

東京都千代田区内神田2-10-12  
 公益社団法人日本下水道協会内  
 TEL: 03-6206-0205  
 Mail: miraikai@gk-p.jp

※イベント開催や大学訪問、出前講座、施設見学等未来会の活動について興味がある大学等就職担当の皆様からの問い合わせもお待ちしております。

# 学生 の皆さん!

## を仕事にしませんか?



街を清潔に保ち  
 水辺のにぎわいを生む

約1億113万人



2020ミス日本「水の天使」中村真優さん

じゅんかん育ち



約110万世帯



約7,000億円



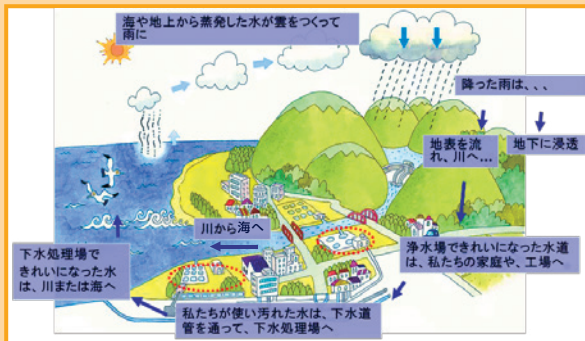
# 実はスゴイ！ 下水道の役割と魅力

## スゴイ！ 1 水循環の中の下水道

私たちは川などから取った水を水道を通じて利用しています。そして、利用し汚れた水(汚水)は下水道管を通し下水処理場へ送られ、きれいに処理された上で、川や海に戻ります。海から蒸発した水は雲をつくり雨として再び地上に戻ることで水循環を形成します。

下水道は水循環の一部として、**汚水を処理**することで川や海などの「水環境を保全」するとともに、「街を清潔に保ち、水辺の創造」に寄与しております。また、雨の日には「街が浸水(※)しないよう」に下水道が**雨水を排除する役割**を果たしています。

※水害統計 平成20年～29年の内水氾濫による被害額 合計約7,000億円



## スゴイ！ 2 下水道は宝の山

下水を処理する中で発生する下水汚泥からバイオガスを抽出し、発電をする取組みが行われています。下水汚泥には**約110万世帯分の電源となりうるポテンシャル**があります。

また、**下水汚泥は農作物の生育に必要なリンを含んでおり肥料化する取組み**が進められています。こうした下水道資源由来の作物を「じゅんかん育ち」としてブランド化し全国で食と下水道の連携(BISTRO下水道)が進められています。この他、**下水から熱**を回収し地域冷暖房へ活用したり、処理した水を**再生水**としてせせらぎへ供給する取組みが各地で実施されています。

下水道は資源としても循環を形成し、**資源・エネルギーの供給拠点**として多くの可能性を秘めています。



バイオガスを生成する  
横浜市北部汚泥資源化センター

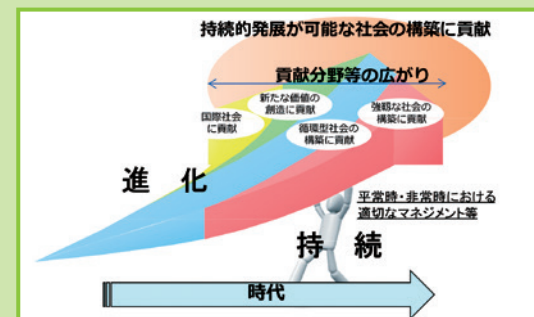


佐賀産の「じゅんかん育ち」アスパラ

## スゴイ！ 3 下水道の使命と持続・進化

令和元年度末時点で、**約1億113万人**が下水道を利用可能となっています。全国で**約48万km**の管路、**約2,200箇所**の下水処理場など、膨大なストックが蓄積されており、適切な維持管理や更新が必要です。さらに、地方自治体同士が連携し広域的に下水道を管理する仕組みや、官民の仕事の役割分担の変化など、**下水道事業の在り方の転換期**を迎えています。

また、下水道での**オムツ受け入れ**、下水からの**ウイルス検知**、ITによる業務効率化など、未来に向けた様々な研究や技術開発が進められており、今後も多様な連携や投資によって下水道が進化し、**人々の暮らしが豊か**になっていくことが期待されます。



## スゴイ！ 4 水ビジネスは成長産業

下水道は国民生活を支えるため、将来にわたり存在し続ける**インフラ**です。国内の建設や維持管理の市場規模は**2～3兆円**で、道路に次ぐ第2位の社会資本ストックがあります。これらを未来につなげるため、大きな管理・更新需要が今後も存在します。

海外での需要はさらに大きいです。国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)では**2030年までに、すべての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成**することなどが掲げられています。また、2020年には水ビジネスの市場は**100兆円**を超える規模になることが推計されています。



# 水ビジネスとしての 下水道の仕事

成長し続ける水ビジネスの活躍の場は、国内外にあり、分野としては**土木、環境、機械、電気、経営、情報通信、広報マスコミ**等多岐にわたります。あなたが活躍できるフィールドには例えば次のような業種があります。

